

アンケートの種別と概要

種別	目的	施策検討への反映(ねらい)
幼稚園 4 歳児の保護者 (全 105 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の幼児教育に関する、デマンドサイド(利用側)からの評価、意向 ・ 進学する小学校への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の指導体制、指導方法、教育環境の改善に反映
小学 5 年生の保護者 (各校から抽出。計 665 人) 中学 2 年生の保護者 (各校から抽出。計 335 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の小学校、中学校教育、地域連携、いじめ対策等に関する、デマンドサイド(利用側)からの評価、意向 ・ 中学校への期待(小のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標にも活用(予定)
小学 5 年生本人 (各校から抽出。計 665 人) 中学 2 年生本人 (各校から抽出。計 335 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校、中学校教育全般にわたり、デマンドサイド(利用側)からの評価 ・ 学習適応、家庭教育、いじめ等にわたる実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の指導体制、指導方法の改善に反映 ・ 成果指標に活用(予定)
公立幼稚園長(全 4 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施当事者から、現行の自己評価、教員の質の向上等に関する課題提示、改善点の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者結果との比較から認識の差の把握を含め、今後の園の教育、指導の改善に反映
公立小・中学校長(全 32 人) 小中一貫教育コーディネーター(全 32 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施当事者から、地域連携、教職員の質、宇治スタンダード等に関する課題提示、改善点の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の指導体制、指導方法の改善に反映 ・ 小中一貫教育の改善に反映
適応指導教室職員(全 13 人)、特別支援教育コーディネーター(全 32 人) 指導主事(全 2 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でのいじめ、学習適応、青少年健全育成等に関する実施当事者からの課題提示、改善点の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の活動支援策の改善に反映 ・ 市独自のセーフティネット構築検討に活用
活動組織・団体(学校地域支援本部、総合型地域スポーツクラブ、文化団体、人権団体等)各代表者(15 団体程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源となる各分野に関する実施当事者からの課題提示、改善点の把握 ・ 連携への意向把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学社連携への改善に反映 ・ 活動の活性化支援、地域資源の活かし方に反映
市民 (10 代後半～60 代から抽出。約 1000 人。男女比考慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・スポーツ・文化活動全般にわたり、デマンドサイド(利用側)からの評価 ・ 活動主体としての意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の主体的な活動を支援する環境づくりに反映 ・ 成果指標にも活用(予定)

(各アンケート案は、別紙参照)